公表　保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日　2026　年　3月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　熊谷 教室

保護者等数(児童数)　29名　回収数　26件(割合90%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	10	0	3	室内のスペースが広く確保されていると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	6		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	4	アプリを通じてプログラム内容や当日の様子を知る事が出来て安心して預ける事が出来ている。	教室内にも可視化された掲示物や色付きタイマー、イラストなどを用いながら、支援に力を入れております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2	0	3	清潔だと思う。	教室や備品は必ず清掃および消毒を行っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	1	そう思う。	子ども1人ひとりの課題にあわせた支援を探しながら、ともに成長していけたらと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	26	0	0	0	プログラムの感想を家で話したり、「今日のプログラムなに？」と興味を持って聞くようになった。	今後も楽しく活動できるプログラムを提供できるよう支援して参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	3	0	0	子どもの特性や課題を十分理解してくれている。	自宅や園での様子をお伺いをしながら、必要であれば通園中の園にも見学に行き、計画書を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2	0	0	そう思う。	支援計画は会議や共有の場があり、職員も意識して支援に携わっております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	0	日々、工夫を感じる。外出もあると良いと思う。	今後も5領域や児童を意識したプログラムを提供して参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	5	6		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0	最初に説明を受けた。	保護者様の疑問や不安を取り除くことが出来るように、丁寧な説明や対応を心掛けて参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	1		安心して通っていただけるように分かりやすい説明を心掛けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	5	4	あまり把握できていない。	送迎時や面談以外の機会でも設けられるよ
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	0	送迎時に1日の様子を話す機会があり、理解できている。	いつも共有のお時間をいただきありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	0	0	定期的な面談の機会がある。	ご相談等はお気軽にご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	6	6	保護者会などの開催については経験がないので興味がある。	保護者間の交流に関しまして、希望されるご意見と希望されないご意見がございますので、検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	1	0		お電話やアプリ、対面等にて受け付けております。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0	配慮がなされていると思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	0	確認できている。	お便りやアプリ・ブログ等で活動内容を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	2		鍵付きの書庫にて保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	2		各マニュアルを事務所に置き、契約時に研修の状況をお伝えしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	1	4		避難訓練は児童も含めて年2回、参加してくれた児童には連絡帳にて、また、全体にはお便りで訓練実施の報告をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	23	2	0	1	そう思う。	教室内での活動だけでなく送迎時も含めて安心・安全を最優先して支援の提供を行って参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2	0	2		万が一の事故やケガが発生した際の対応方法を職員間で共有しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	26	0	0	0	帰ってくると「楽しかった」と言っている。安心して通えていると思う。	今後も送迎も含め、安心・安全を最優先して支援の提供を行って参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0	「明日さくらさん（利用日）？」と聞いてくるほど楽しみにしている。	楽しく利用していただける様に今後も努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	自宅では出来ない様なプログラムができ、写真付きで詳細を教えてくれるので満足している。	児童や保護者様に満足して利用していただけるような支援を目指して今後も努めて参ります。

公表　児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日　2026　年　3月　20日　　事業所名　こぱんはうすさくら　熊谷 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	体を大きく動かすプログラムの際は部屋を分けて対応している。 ニーズに合わせて部屋を分けている。	落ちついて活動できるようなスペース作りが課題。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	1人の職員につき児童２人の配置できるようなシフトを組んでいる。	児童や職員が出入りするタイミングまた声掛けなどに注意が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	児童1人ひとりのロッカーがある。また、1日のスケジュールや当日いる児童・職員の名前、声の大きさ等、可視化にも力を入れている。	落ちつけるスペースが少ない為、空いている部屋や廊下を利用して空間の確保を保っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	毎日掃除・消毒を行い感染症にも気を付けている。	乾燥する時季は加湿器があると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	11	2	使用していない部屋や廊下などの空間も用いながら対応している。	静養室がない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	申し送りや会議の場で参画する機会が多くある。	当日出勤していない職員も広く参画できる場や手段があると良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	前回の内容を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	申し送りや定期的な支援会議、個別面談等で情報共有をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	Zoomによる定期的な研修や動画で空いた時間に研修を受ける事ができる。外部の研修・講習会に参加する機会もある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	13	0	各職員が得意な活動（5領域）や各児童の課題を熟考しプログラムを作成している。アプリやお便りで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	申し送りや支援会議の場に限らず、気づいたことや感じたことをすぐに共有できるようにしてる。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1	現場にいる直接処遇職員の意見を尊重し、検討したうえで個別支援計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	週に1度程度、支援会議の場で共有を行っている。個別ファイル、アプリは営業時間中、確認できるようにしている。	直接処遇職員が計画書に沿った具体的な支援をより意識できると良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	支援計画の内容や目標を軸にして、日々の行動や園・ご家庭からの情報も職員で共有し合い対応している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1	家族支援を行う意味、地域連携の必要性もふまえ、5領域に沿った本人支援を明確に設定している。	「移行支援」「地域支援・地域連携」がやや弱いと感じる。ガイドラインの要点も、各自目に触れておく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	職員それぞれの得意不得意を鑑みて、案に偏りが出ないように行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	毎月プログラム案を出し保管している。曜日で固定化しない様に各領域をバランスよく割り振っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	集団の中でもその場その子に応じた個別支援の実施を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	2	ミーティングに参加できない職員が出るため、LINEworksを活用している。	出勤時間によって共有の早さに差異が生まれてしまう。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	3	必要な情報はLINEworksを使い情報の共有を行っている。	送迎の時間によって翌日の申し送りに回されることもある。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	連絡帳や写真でその日の児童の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	日々の活動から得た情報だけに固執せず、保護者や園のご意見も参考に適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	管理者、児発管が対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	児童が通う園とは積極的に連携を図っている。ほか、リハビリ見学にも参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	併用先の事業所と連絡を取り合ったり、園へ訪問し情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	学校訪問により情報共有を行っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答）				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答）				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	10	3		今後検討が必要。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	6		今後検討が必要。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	送迎時にお時間を頂き活動中の様子を共有し、それを改めて職員間でも共有するようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	4	送迎時に相談を受けた際には「ご家庭でもやってみてください」といった形で提案をしている。	事業所が主催する研修の機会は設けていない為、今後検討していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時の説明とは別で、アプリを使い毎月の支援プログラムについての説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	13	0	児発管、管理者メインで面談を行い児童と保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	定期的な面談の場での説明。計画書に沿って説明をし、質問等はいつでも回答できる体制をとっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	送迎時のほかにも電話連絡と、必要に応じて計画書作成以外でも面談の日程を組むよう努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	8		父母会は行いたくないという声も少なくないため、慎重に検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	相談があった際は管理者へ報告、必要であれば全体へ周知(LINEworks)という体制をとっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	連絡帳を活用し個別にお写真を添付するほか、ブログやお便りを活用し発信している。	ブログもより力を入れていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	鍵付きの書庫に保管している。保護者へ渡すものはダブルチェックを行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	充分に配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7		事業所側でイベントを開催する事が困難な体制ではあるが地域イベント・交流の場を今後も増やしていきたい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	2	マニュアルは全て事務所に掲示し、訓練に参加できなかった職員も確認できるよう保管している。	当日利用していない児童のご家庭への実施報告や出勤していない職員にも積極的な周知を行っていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1	策定は完了し、訓練も行っている。	各職員が意識的に資料を確認する必要がある
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	契約時に確認と、服薬依頼書をお渡ししている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		契約時にアレルギーの有無は確認するが医師の指示書の提示は求めていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2	安全計画は毎月の研修・訓練内容も含め作成したものを事務所に保管しいている。	各職員が計画書を確認し理解を深めておく必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	11	2	危険回避ができるよう事前にどういう可能性があるか確認・把握をしたうえで安全計画を作成している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	事業内での共有は出来ている。	職員みんなが意識を高く持ち、再発防止に向けた取組を行っていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	虐待防止や感染症対策といった研修が定期的に開かれている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	定期的に研修が開かれている。契約書にも身体拘束について記載し、説明を行っている。	他事業所との事例検討会といった意見交換の場があるとより良く感じる。